

大口総合戦略（転出者）アンケート

報告書（案）

平成27年12月25日時点

大 口 町

目 次

序章 調査の概要	1
第1章 あなたやあなたのご家族などについて	2
(1) 性別・年齢 (問1)	2
(2) 職業 (問2)	3
(3) 転出先 (問3)	4
(4) 大口在住時の居住地 (自治組織) (問4)	6
(5) 転出家族の人数 (問5)	7
(6) 家族構成 (問6)	8
(7) 同居の家族 (問7)	9
(8) 結婚の有無 (問8)	10
第2章 大口町からの転出理由や転出前後の様子について	11
(1) 転出の理由 (問9)	11
(2) 転出前後の住宅のタイプ (問10)	12
(3) 住みやすさに関する比較評価 (問11)	14
(4) 現住地と比べた場合の大口町の総合的な住みやすさに関する評価 (問12)	19
第3章 大口町へ再び戻ってくる予定・意向について	22
(1) 再転入意向 (問13)	22
(2) 再転入の場合の理由 (問14)	24
■調査票	25

序章 調査の概要

(1) 調査の目的

大口町では、『みんなで進める自立と共助のまちづくり』を基本理念として掲げた第6次大口町総合計画に基づいて町政運営を進めてきました。また、全国的に人口減少や少子高齢化が進んでいる中、本町では、住みやすいまちづくりを進めるための戦略（計画）づくりをスタートさせたところです。

そこで、より一層住みやすいまちづくりを進めていくための基礎資料を得ることを目的に、前町民であった皆さん（町から転出した方）を対象にアンケートを実施しました。

(2) 調査対象及び調査方法

①調査対象

平成26年4月1日～平成27年9月30日に大口町内から市外に転出した18歳～60歳のすべての前市民の人

②調査方法

郵送配布・郵送回収方式

③調査期間

平成27年11月12日から平成27年11月26日までの期間

(3) アンケート票の配付・回収状況

配付・回収状況は、下表の通りです。

表 0-1 配付・回収状況

配布数	有効回収数	有効回収率
792	215	27.1 (%)

(4) グラフの見方等

グラフは、原則として単数回答は帯グラフ、複数回答は横棒グラフやダンゴ形のグラフを用いて表現しています。

図中の構成比(%)は、複数回答、単数回答ともに、小数点以下第2位を四捨五入していますので、合計は必ずしも100.0%にはなりません。

一部のグラフにおいては、「不明(回答なし)」は省略してあります。また、設問のカテゴリー(選択肢)などの表現は、一部省略してある場合があります。

第1章 あなたやあなたのご家族などについて

(1) 性別・年齢(問1)

問1 あなたの性別・年齢をお教えてください。

回答者のうち、「男性」が6割で、年齢は、30歳代以下で76.3%を占めています。

○回答者の性別は、「男性」が60.0%、「女性」が39.5%であり、「男性」が「女性」より20ポイント以上多くなっています(図1-1-1)。

○回答者の年齢は、「20歳代以下」が40.5%で最も多く、次いで「30歳代」が35.8%となっており、30歳代以下の人が76.3%を占めています(図1-1-2)。

図1-1-1 「性別」

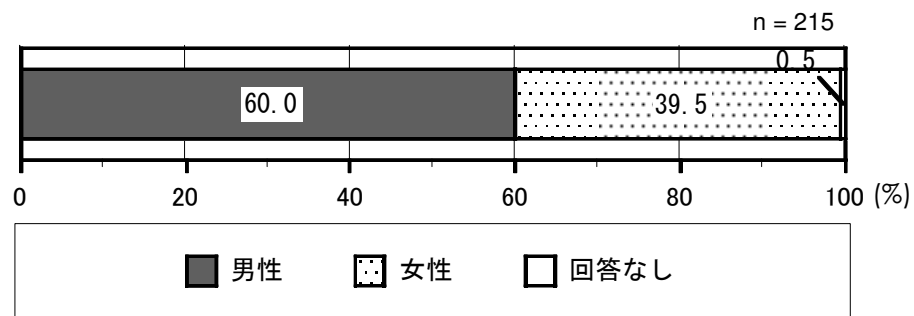
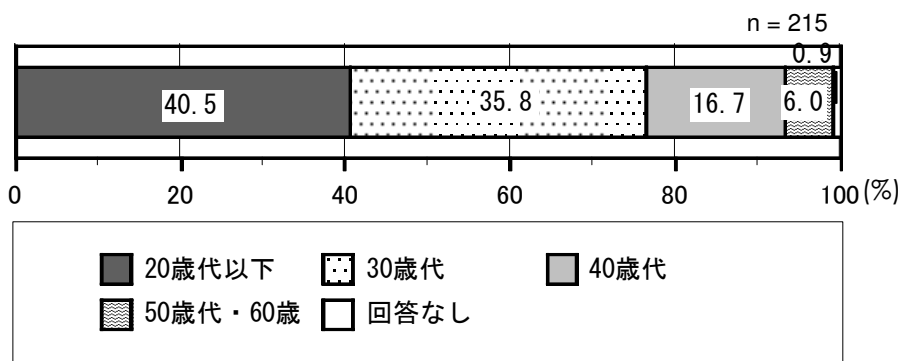


図1-1-2 「年齢」



(2) 職業 (問2)

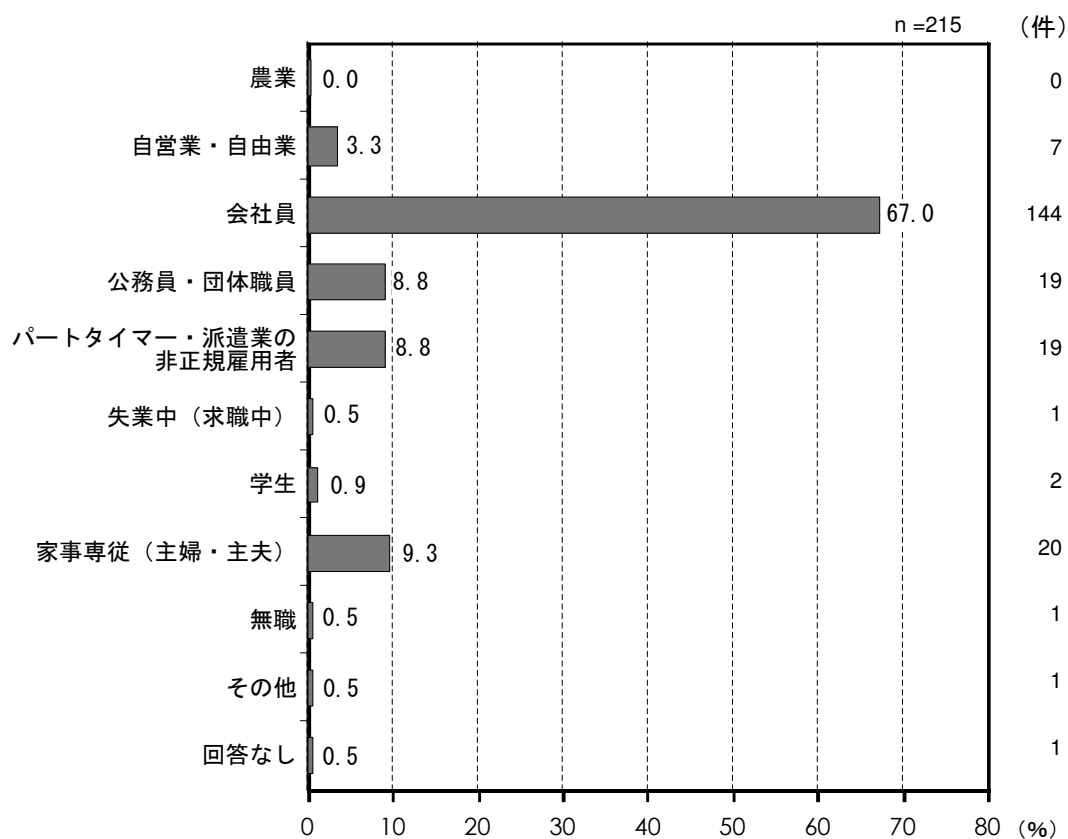
問2 あなたの職業は何ですか。

回答者のほとんどが有職者であり、職業は、「会社員」が67.0%で最も多くなっています。

○回答者の職業は、「失業中（求職中）」(0.5%)、「家事専従（主婦・主夫）」(9.3%)、「無職」(0.5%) は合わせて10.3%であり、有職者が大半を占めています。

○有職者で最も多いのは「会社員」(67.0%) であり、「公務員・団体職員」と「パートタイマー・派遣業の非正規雇用者」が共に8.8%で、次に多くなっています (図1-2)。

図1-2 「職業」



(3) 転出先 (問3)

問3 あなたは、現在 (大口町から転出した後)、どこに住んでいますか。

転出先は、愛知県内の市町村が7割強を占めています。

- 大口町からの転出先は、「岐阜県・三重県」といった近隣県が10.7%、「その他の都道府県」が14.4%であり、愛知県内の市町村への転出が74.9%を占めています。
- 愛知県内での転出先をみると、「小牧市・江南市・犬山市・扶桑町」といった隣接自治体への転出が40.9%で最も多く、「名古屋市」が11.2%、「一宮市・春日井市・岩倉市」が7.9%といった近隣市を合わせると60.0%と近隣自治体への転出が際立っています (図1-3)。

図1-3 「転出先」

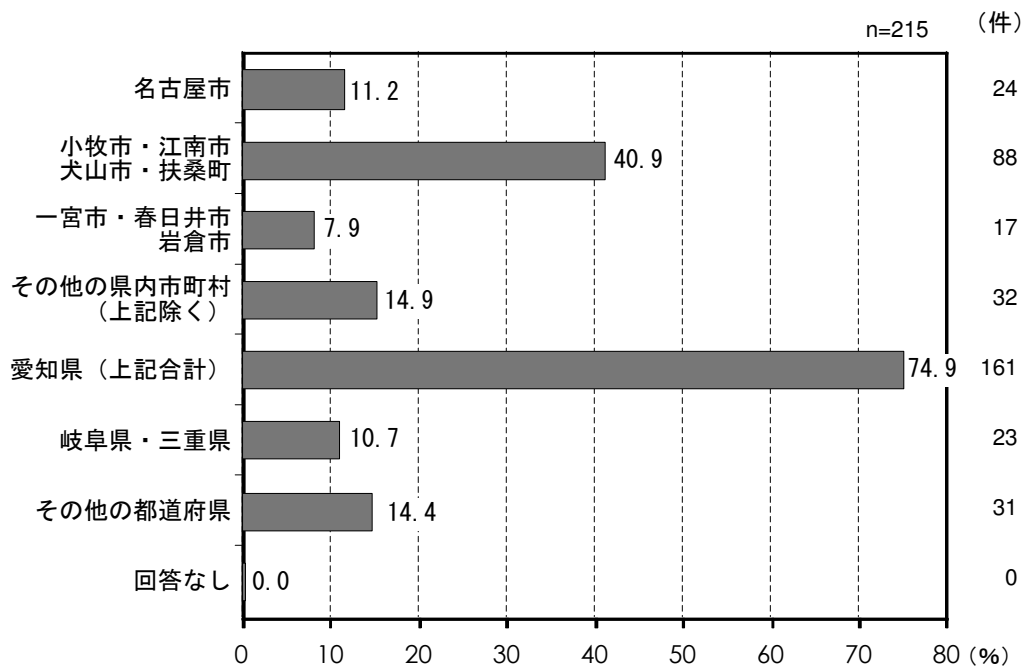


表 1-3-1 転出先カテゴリ「その他県内の市町村」の内訳

その他県内の市町村	件数
稲沢市	3
日進市	3
北名古屋市	3
弥富市	3
知立市	2
東郷町	2
清須市	2
大府市	2
あま市	1
常滑市	1
豊明市	1
豊川市	1
安城市	1
碧南市	1
瀬戸市	1
西尾市	1
岡崎市	1
長久手市	1
半田市	1
合計	31

表 1-3-2 転出先カテゴリ「その他の都道府県」の内訳

その他の都道府県	件数
東京都	5
静岡県	4
埼玉県	4
神奈川県	3
熊本県	2
石川県	2
千葉県	2
兵庫県	2
大分県	1
岩手県	1
奈良県	1
滋賀県	1
福岡県	1
長野県	1
大阪府	1
合計	31

(4) 大口在住時の居住地（自治組織）（問4）

問4 あなたは、大口町に住んでいた時、あなたのお住まいはどの地区（行政区）にありましたか。

大口在住時の居住地は、「北地域自治組織」と「中地域自治組織」がそれぞれ約4割、「南地域自治組織」が約2割となっています。

○大口在住時の居住地をみると、「北地域自治組織」が41.4%で最も多く、続いて「中地域自治組織」が37.7%、「南地域自治組織」が18.6%となっています（図1-4）。

図1-4 「大口在住時の居住地（自治組織）」

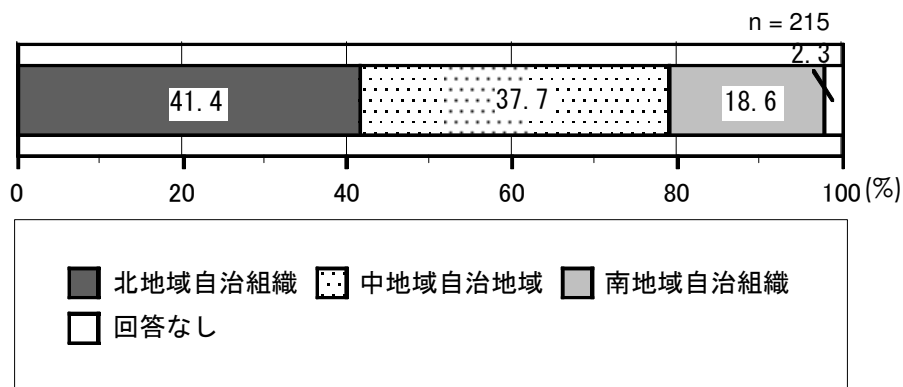


表1-4 自治組織-行政区対照表

自治組織	行政区
北地域自治組織	外坪、河北、上小口、中小口、下小口
中地域自治組織	余野、垣田、さつきヶ丘
南地域自治組織	秋田、豊田、大屋敷

(5) 転出家族の人数 (問5)

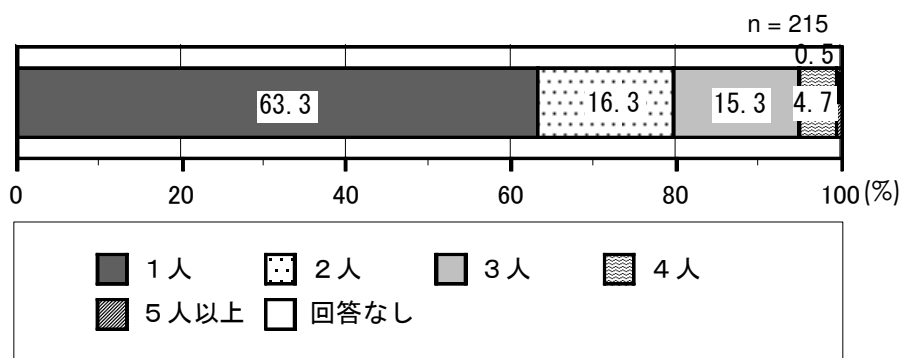
問5 大口町から転出されたご家族の人数は、あなたも含めて何人でしたか。

転出した家族の人数は、「1人」または「2人」が約8割を占めています。

○転出した家族の人数をみると、「1人」が63.3%で最も多く、「2人」が16.3%、「3人」が15.3%が続いています。

○「4人」と「5人以上」は合わせて5.2%であり、単身あるいは2人といった少人数での転出が約8割を占めています (図1-5)。

図1-5 「転出家族の人数」



(6) 家族構成 (問6)

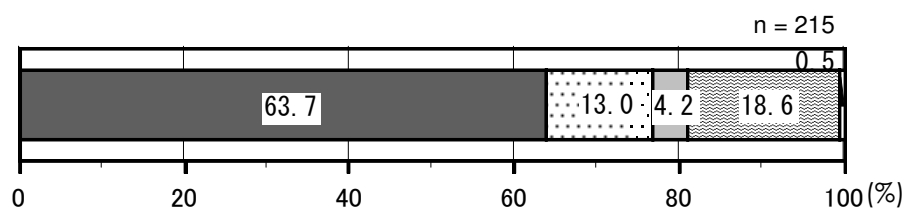
問6 大口町から一緒に転出したあなたのご家族の構成は次のどれに属しますか。

「単身」の転出が約6割強を占めています。

○大口町から転出した家族の構成は、「単身」が63.7%で最も多く、「2つの世代で、本人や配偶者+子どもからなる家族」が18.6%、「夫婦のみ」(13.0%)、「1つの世代家族(夫婦のみの世帯を除く)」(4.2%)が続いています(図1-6)。

○なお、「2つの世代で、本人や配偶者+本人や配偶者の親からなる家族」や3つ世代で構成される家族、4つの世代で構成される家族の転出はありませんでした(図1-6)。

図1-6 「家族構成」



- 単身
- 夫婦のみ
- 1つの世代の家族 (夫婦のみの世帯を除く)
- 2つの世代で「本人や配偶者+子ども」からなる家族
- 2つの世代で「本人や配偶者+本人や配偶者の親」からなる家族
- 3つの世代で「本人や配偶者の親+本人や配偶者+子ども」からなる家族
- 3つの世代で「本人や配偶者の祖父母+本人や配偶者の親+本人や配偶者」からなる家族
- 4つ以上の世代からなる家族
- その他
- 回答なし

(7) 同居の家族 (問7)

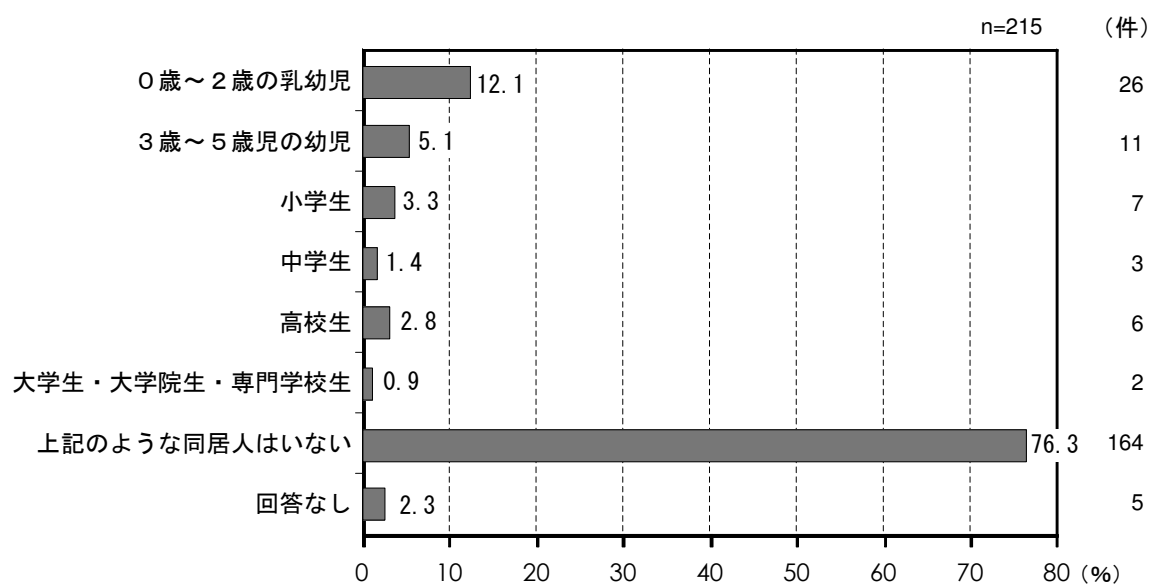
問7 大口町から転出したあなたのご家族の中には、次のいずれかにあてはまる方はいますか。【あてはまるものをすべて選んで番号に○印をつけてください。】

転出した家族の76.3%には子どもや学生が含まれていません。

○転出した家族に子どもや学生が含まれるかを尋ねたところ、「そのような同居人はいない」は76.3%であり、転出世帯の8割弱に子どもや学生は含まれていませんでした。

○転出した家族内の子どもの年齢をみると、「0歳～2歳の乳幼児」が12.1%で最も多く、「3歳～5歳の幼児」が5.1%、「小学生」が3.3%が続いています(図1-7)。

図1-7 「同居の家族」



(8) 結婚の有無 (問8)

問8 あなたは結婚していますか。

「結婚している」という回答者が61.9%で最も多く、年齢別にみると、30歳代での「結婚している」が75.3%と最も多く、また、「離別・死別した」は50歳代・60歳で46.2%となっています。

○回答者の結婚の有無についてみると、「結婚している」が61.9%で最も多く、これに対して「結婚していない」が28.4%、「離別・死別した」が6.5%となっています。

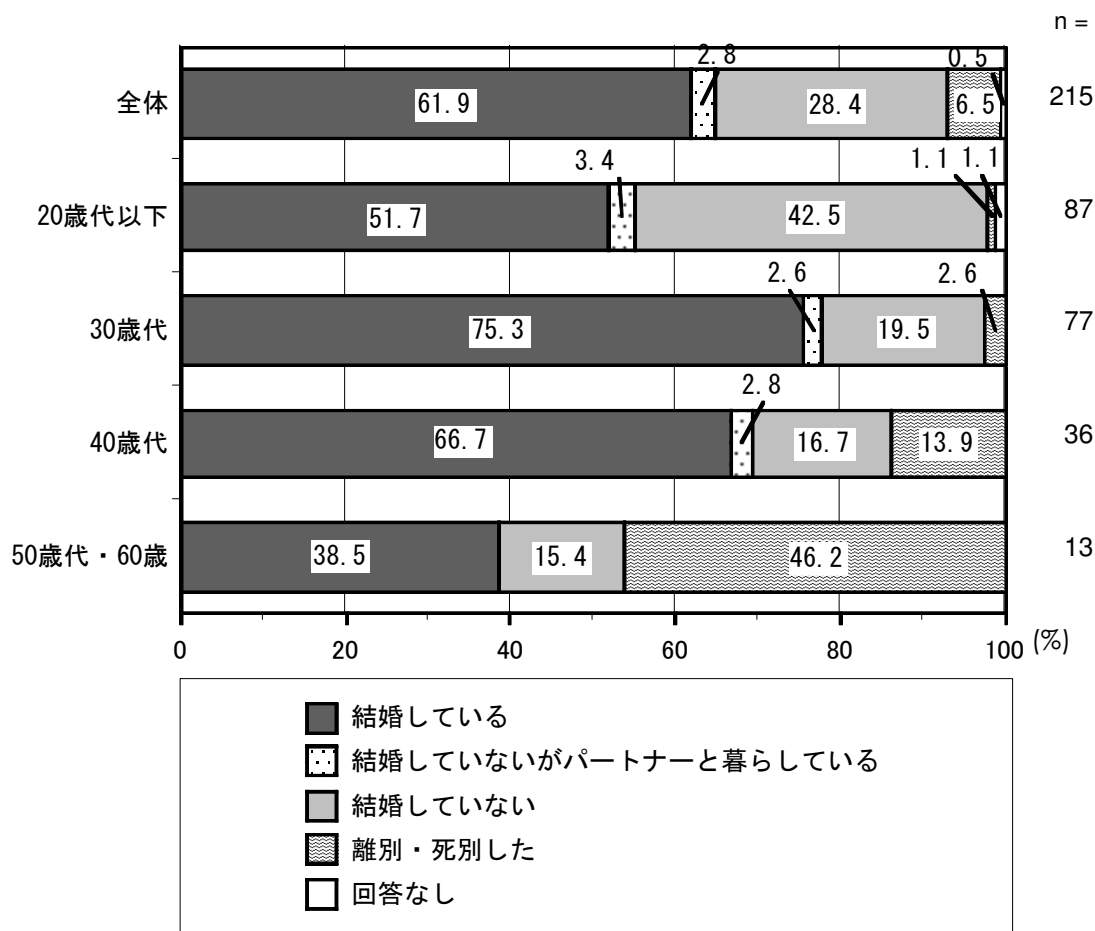
【年齢別】

○年齢別にみると、いずれの年代でも「結婚している」が最も多くなっていますが、特に30歳代では75.3%であり、他の年代と比べると高くなっています。

○「結婚していない」は、「20歳代以下」では42.5%となっており、「30歳代」や「40歳代」でも共に2割程度を占めています。

○一方「離別・死別した」は、「50歳代・60歳」で46.2%となっており、年齢層が上がるにつれ多くなる傾向がみられます (図1-8)。

図1-8 年齢別「結婚の有無」



第2章 大口町からの転出理由や転出前後の様子について

(1) 転出の理由 (問9)

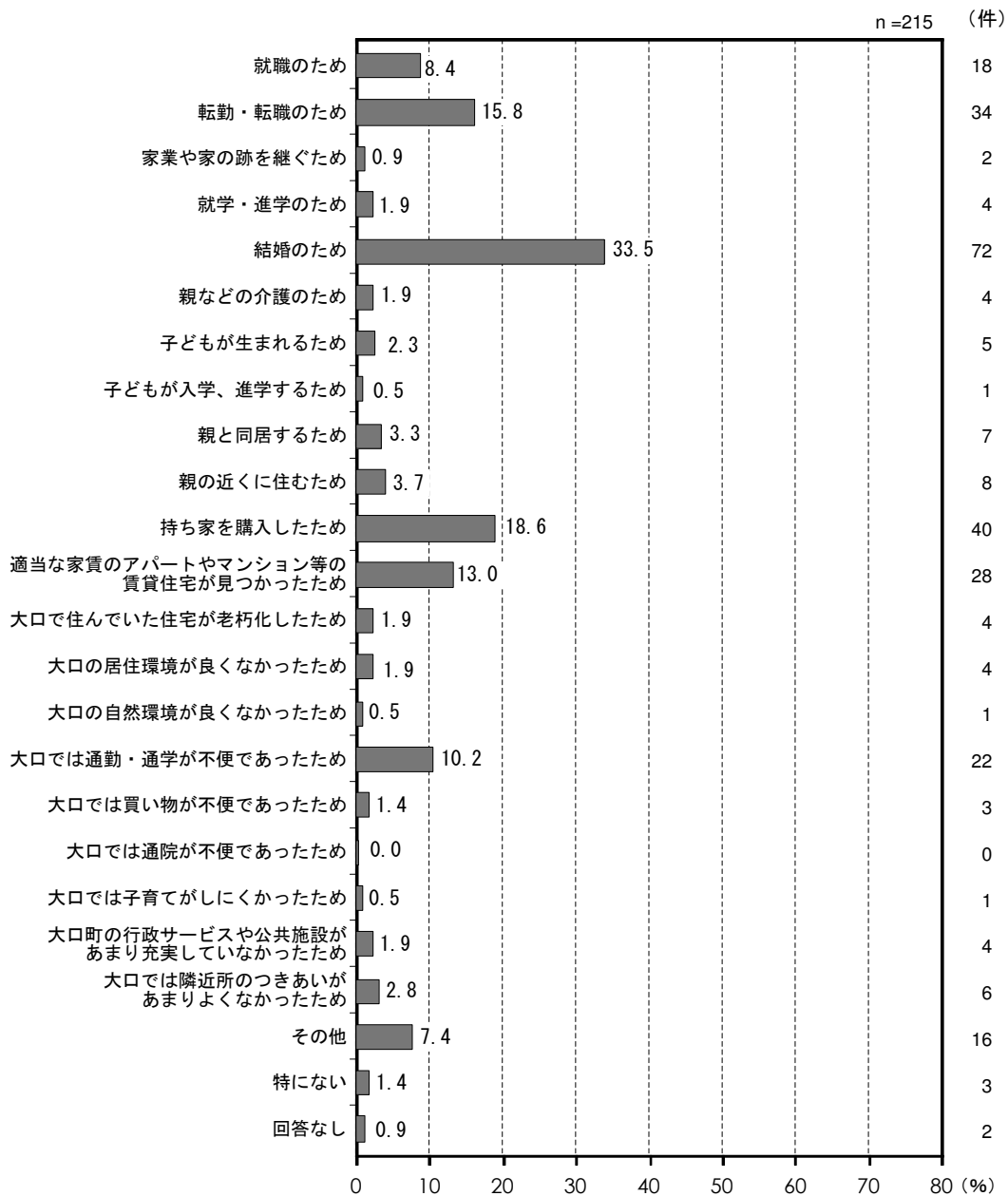
問9 大口町から転出して（引越しをして）、他市町村に移り住んだ主な理由は何ですか。
【あてはまるものを5つまで選んで番号に○印をつけてください。】

転出した理由は、結婚、持ち家の購入、転勤・転職などが多くを占めていますが、通勤・通学が不便であったとする理由も1割程度含まれています。

○大口町から転出（引っ越し）した主な理由は、「結婚のため」が33.5%で最も多く、「持ち家を購入したため」が18.6%、「転勤・転職のため」が15.8%で続いており、結婚や仕事の都合、持ち家の購入などのライフイベントを理由とした移動が多くなっています。

○一方、「大口では通勤・通学が不便であったため」（10.2%）を理由とするものも1割程度みられます（図2-1）。

図2-1 「転出の理由」



(2) 転出前後の住宅のタイプ (問 10)

問 10 大口町に住んでいた時 (前住地) の住宅のタイプと大口町から転出して (引越しをして) 他市町村に移り住んだ後 (現住地) の住宅のタイプをお教えてください。

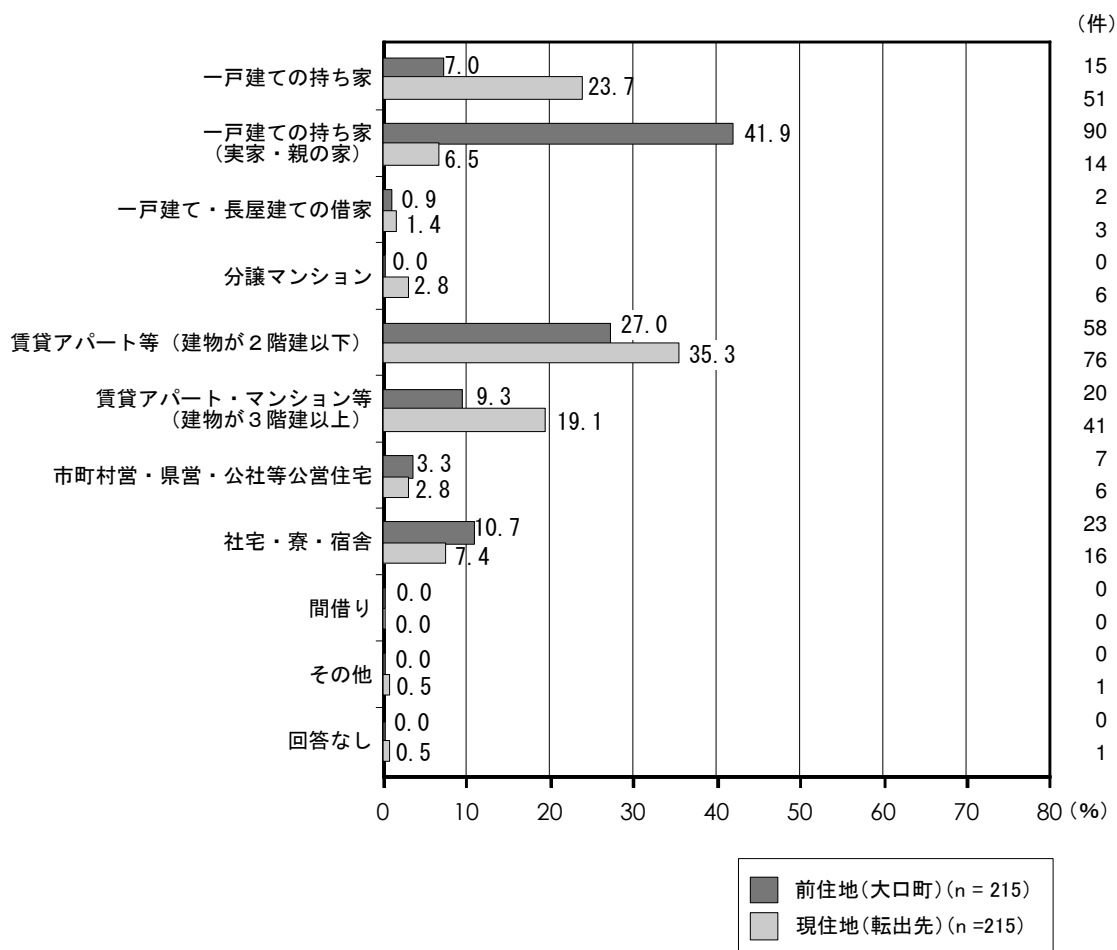
転出後の住宅タイプは、「賃貸アパート等 (建物が2階建以下)」、「一戸建ての持ち家」が多くなっています。

転出前後を比較すると、「一戸建ての持ち家 (実家・親の家)」⇒「賃貸アパート等 (建物が2階建以下)」又は「賃貸アパート・マンション等 (建物が3階建以上)」、あるいは、「賃貸アパート等 (建物が2階建以下)」⇒「一戸建ての持ち家」又は「賃貸アパート等 (建物が2階建以下)」という転居パターンが多くなっています。

○大口町に住んでいた時 (前住地) の住宅のタイプは、最も多いのが「一戸建ての持ち家 (実家・親の家)」(41.8%) で、次に多いのが「賃貸アパート等 (建物が2階建以下)」(27.0%) となっています。また、「社宅・寮・宿舎」が 10.7%みられることも特徴となっています。

○一方、大口町から転出した後 (現住地) の住宅のタイプは、「賃貸アパート等 (建物が2階建以下)」が 35.3%で最も多く、「一戸建ての持ち家」が 23.7%、「賃貸アパート・マンション等 (建物が3階建以上)」が 19.1%で続いています (図 2-2-1)。

図 2-2-1 「転出前後の住宅のタイプ」 (転出前後比較)

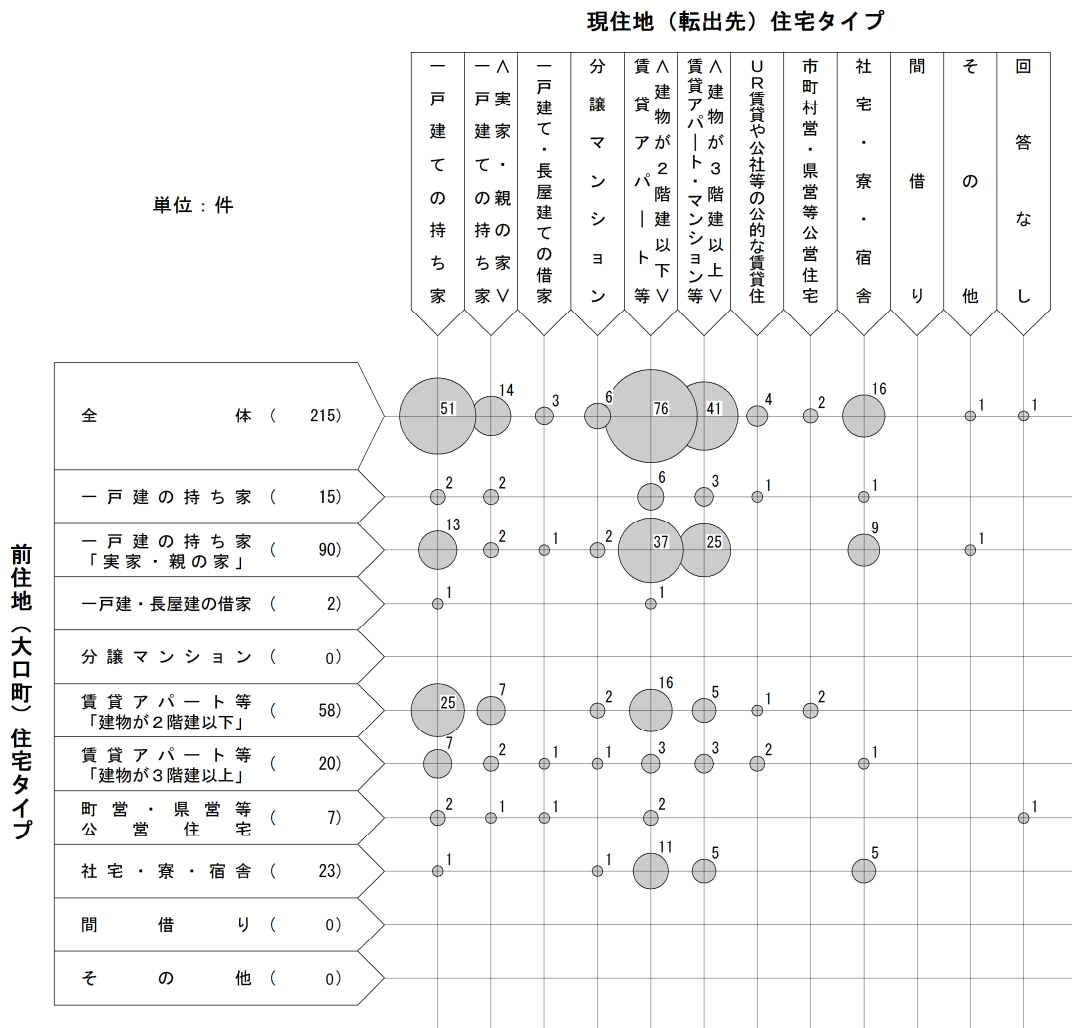


【前住地（大口町）の住宅タイプ別】

○転出前後の住宅のタイプの変化をみると、以下のような転居パターンが多くなっています（図2-2-2）。

- ①「一戸建ての持ち家（実家・親の家）」⇒「賃貸アパート等（建物が2階建以下）」
- ②「一戸建ての持ち家（実家・親の家）」⇒「賃貸アパート・マンション等（建物が3階建以上）」
- ③「賃貸アパート等（建物が2階建以下）」⇒「一戸建ての持ち家」
- ④「賃貸アパート等（建物が2階建以下）」⇒「賃貸アパート等（建物が2階建以下）」
- ⑤「一戸建ての持ち家（実家・親の家）」⇒「一戸建ての持ち家」

図 2-2-2 前住地（大口町）の住宅タイプ別 現住地の住宅のタイプ



(3) 住みやすさに関する比較評価 (問 11)

問 11 大口町に住んでいた時 (前住地) と大口町から転出して (引越しをして) 他市町村に移り住んだ後 (現在地) とでは、どちらが住みやすいですか。①から⑱までのそれぞれの項目の面からみて、現住地に比べて大口が住みよかったかどうか、1~5 の番号に○をつけてください。

大口町と転出先に関する各項目の住みやすさについて、下記の方法により 5 段階の得点を付け、平均得点を算出しました。この評点を指標として、住みやすさの分析を行いました。平均得点は、+2 点に近いほど大口町の方が住みやすいことを示し、逆に-2 点に近いほど大口町の方が住みにくいことを示しています。

【住みやすさの平均得点の算出方法】

住みやすさ	得点 (評点)
大口の方が住みやすい	+2 点
大口の方がやや住みやすい	+1 点
どちらともいえない	0 点
大口の方がやや住みにくい	-1 点
大口の方が住みにくい	-2 点

住みやすさの平均得点

= {「大口の方が住みやすい」の回答数×(+2 点) + 「大口の方がやや住みやすい」の回答数×(+1 点) + 「大口の方がやや住みにくい」の回答数×(-1 点) + 「大口の方が住みにくい」の回答数×(-2 点)} ÷ 総回答数

大口町に対する評価が高かった項目は、「自然や緑の豊かさ」や「歩行者や自転車の通行の快適さや安全性」などの 18 項目中 14 項目でした。一方、大口町の方が評価が低かったのは、「鉄道やバスなどの交通」をはじめとした 3 項目だけです。

○「大口の方が住みやすい」と「大口の方がやや住みやすい」を合わせたプラス評価の割合が多かったのは、「自然や緑の豊かさ」(合計 44.2% [25.6%+18.6%])、「歩行者や自転車の通行の快適さや安全性」(合計 42.8% [15.8%+27.0%])、「騒音・振動・悪臭等の公害の少なさ」(合計 37.7% [17.2%+20.5%])、「自動車で移動する際の道路の整備状況」(合計 36.3% [15.8%+20.5%]) などでした。

○一方、「大口の方が住みにくい」と「大口の方がやや住みにくい」とを合わせたマイナス評価の割合は、「鉄道やバスなどの交通」(合計 51.1% [30.2%+20.9%]) が最も多かった他、「日常の買い物の便利さ」(合計 35.4% [13.5%+21.9%])、「病院や診療所などの医療機関の利用」(合計 25.6% [10.7%+14.9%]) なども多くなっており、これらの項目は転出先の環境によって評価が分かれるものとみられます (図 2-3-1)。

○平均得点でみると、大口町に対する評価が高かったのは、「自然や緑の豊かさ」(0.49) や「歩行者や自転車の通行の快適さや安全性」(0.41) などで、18 項目中 14 項目でした。一方、評価が低かったのは、「鉄道やバスなどの交通」(-0.49) と「戸建て住宅やマンション等の持ち家の購入のしやすさ」(-0.14)、「適当な家賃のアパートやマンション等の賃貸住宅の取得のしやすさ」(-0.05) の 3 項目でした (図 2-3-2)。

図 2-3-1 「住みやすさに関する比較評価」

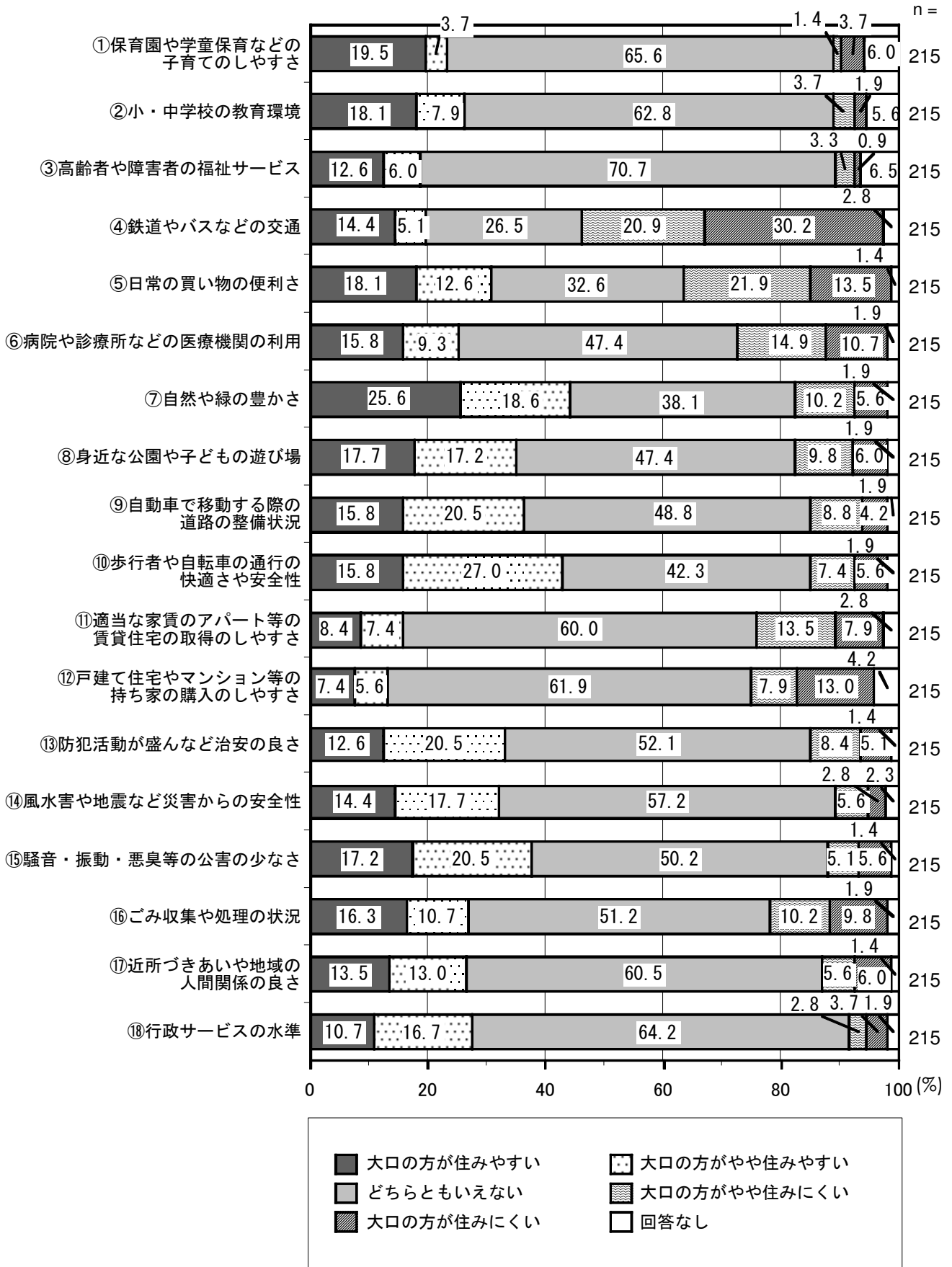
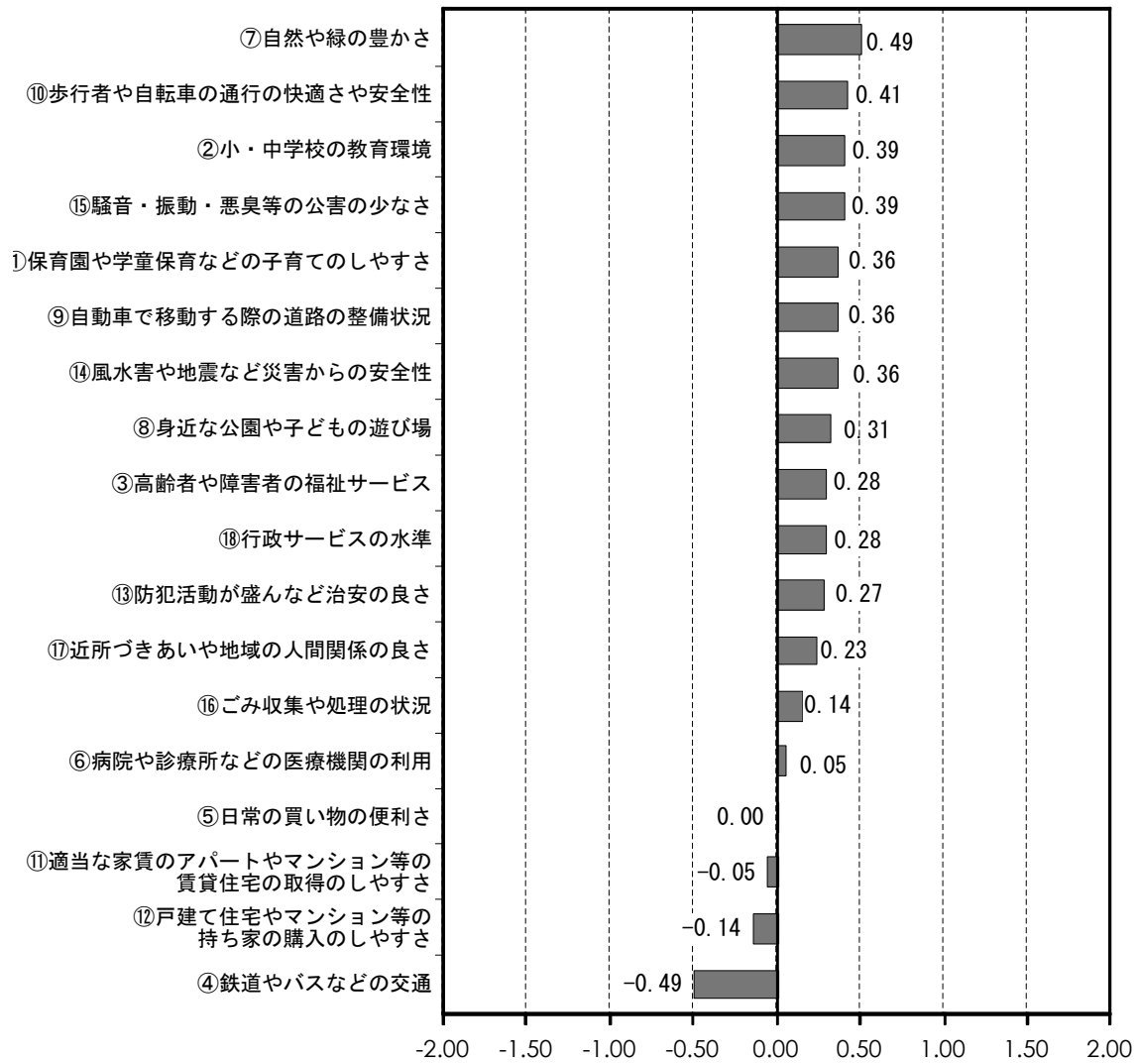


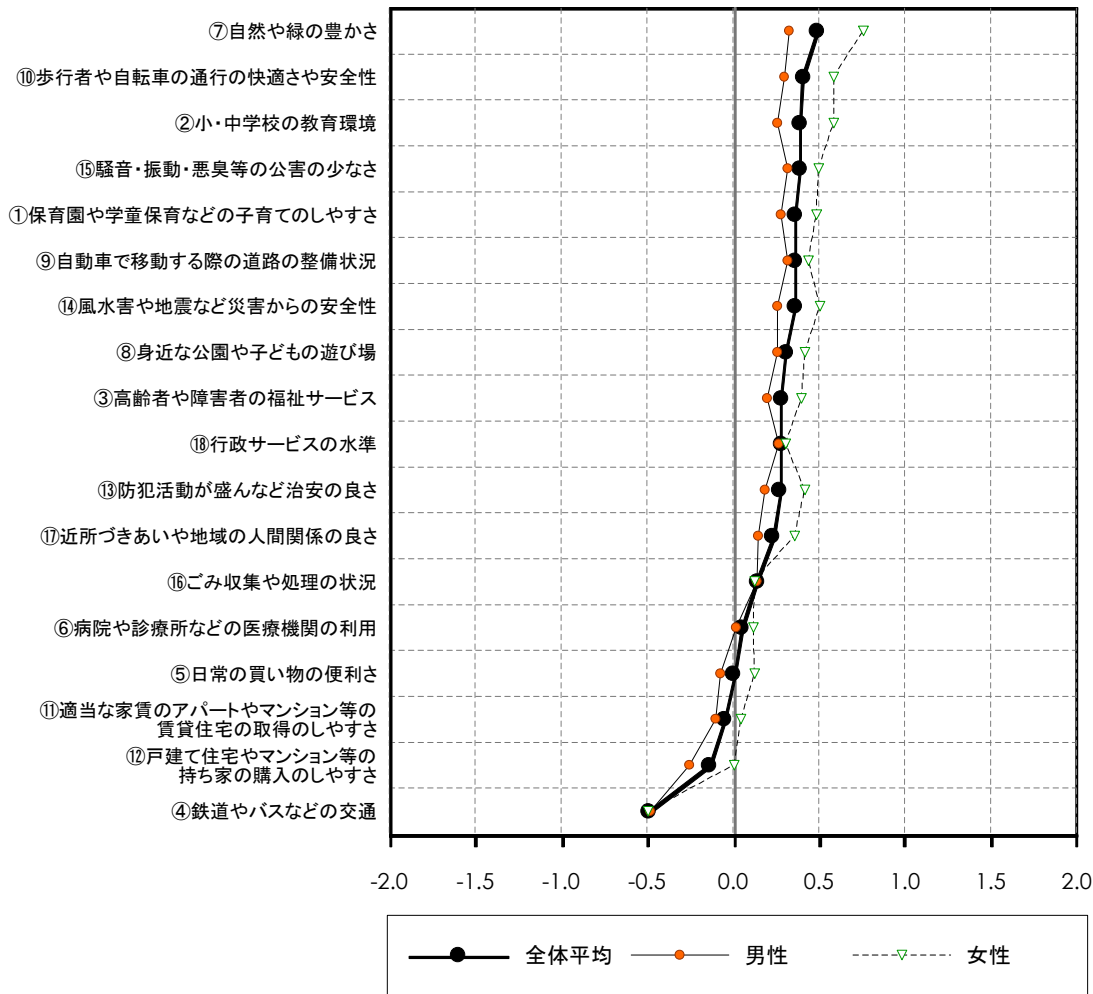
図 2-3-2 「住みやすさに関する比較評価」(評点)



【性別】

○性別でみると、プラス評価であった「自然や緑の豊かさ」（男性 0.33、女性 0.76）や「小・中学校の教育環境」（男性 0.26、女性 0.59）、「歩行者や自転車の通行の快適さや安全性」（男性 0.3、女性 0.59）など、概して女性の評価が男性に比べて評価が高くなっていますが、全般的には性別による大きな差はみられません（図 2-3-3）。

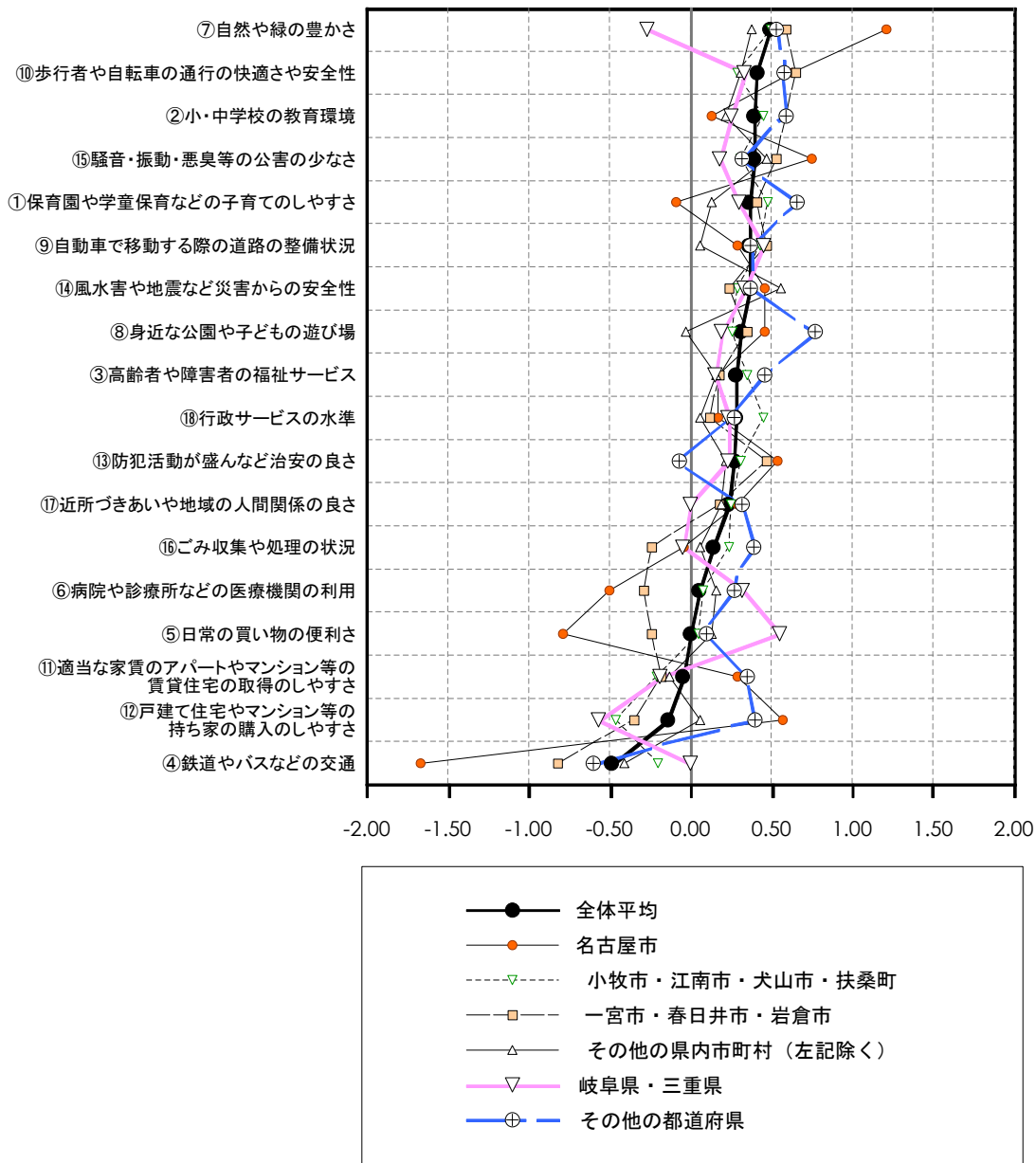
図 2-3-3 性別「住みやすさに関する比較評価」



【転出先別】

- 転出先別の評価をみると、「名古屋市」へ転出した人については、大口町の「自然や緑の豊かさ」(1.21)や「騒音・振動・悪臭等の公害の少なさ」(0.75)などを高く評価していますが、「鉄道やバスなどの交通」(-1.67)や「日常の買い物の便利さ」(-0.79)についての評価がかなり低くなっています。
- 一方、「岐阜県・三重県」へ転出した人は、「名古屋市」とは逆に「日常の買い物の便利さ」(0.55)について大口町を高く評価しているのに対し、「自然や緑の豊かさ」(-0.27)や「戸建て住宅やマンション等の持ち家の購入のしやすさ」(-0.57)については低い評価となっています。
- なお、最も転出数の多い隣接自治体(小牧市・江南市・犬山市・扶桑町)への転出者の評価をみると、「戸建て住宅やマンション等の持ち家の購入のしやすさ」(-0.46)と「適当な家賃のアパートやマンション等の賃貸住宅の取得のしやすさ」(-0.21)、「鉄道やバスなどの交通」(-0.20)を除く残りの15項目については、プラス評価になっています(図2-3-4)。

図 2-3-4 転出先別「住みやすさに関する比較評価」



(4) 現住地と比べた場合の大口町の総合的な住みやすさに関する評価 (問 12)

問 12 大口町に住んでいた時と大口町から転出して(引越しをして)他市町村に移り住んだ後(現住地) とでは、どちらが総合的にみた場合に住みやすいですか。

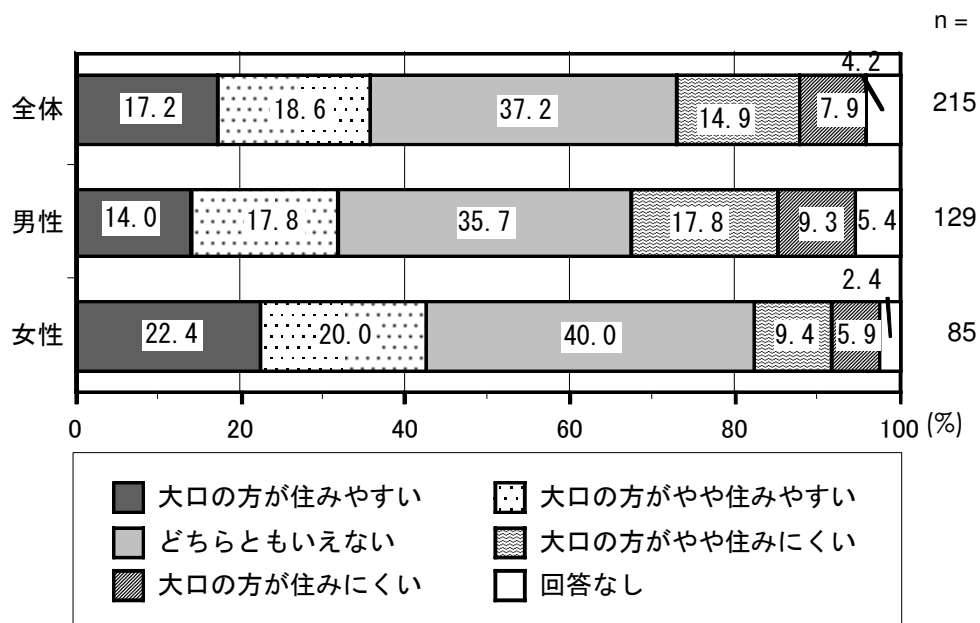
現住地(転出先)より大口町の方が総合的に住みやすいと評価した人が、住みにくいと評価した人を13ポイント上回っています。転出先別にみると、唯一名古屋市に転出した人では、大口町の方が住みにくいという評価をした人の割合が、住みやすいと評価した人の割合を上回っています。

○大口町に住んでいた時と他市町村に転出した後(現住地)とを比較して、どちらが総合的に住みやすいかを尋ねたところ、「大口の方が住みやすい」と「大口の方がやや住みやすい」を合わせた割合(以下、「住みやすいという評価」)は35.8%(17.2%+18.6%)となっています。一方、「大口の方が住みにくい」と「大口の方がやや住みにくい」を合わせた割合(以下、「住みにくいという評価」)は22.8%(7.9%+14.9%)で、「住みやすい」が「住みにくい」を13ポイント上回っています。

【性別】

○性別でみると、「住みやすいという評価」は、女性が42.4%(22.4%+20.0%)であるのに対して、男性は31.8%(14.0%+17.8%)と、女性が男性を10.6ポイント上回っています。転出者のうち、どちらかと言えば女性にとって大口町は住みやすいまちとしての評価が得られているといえます(図2-4-1)。

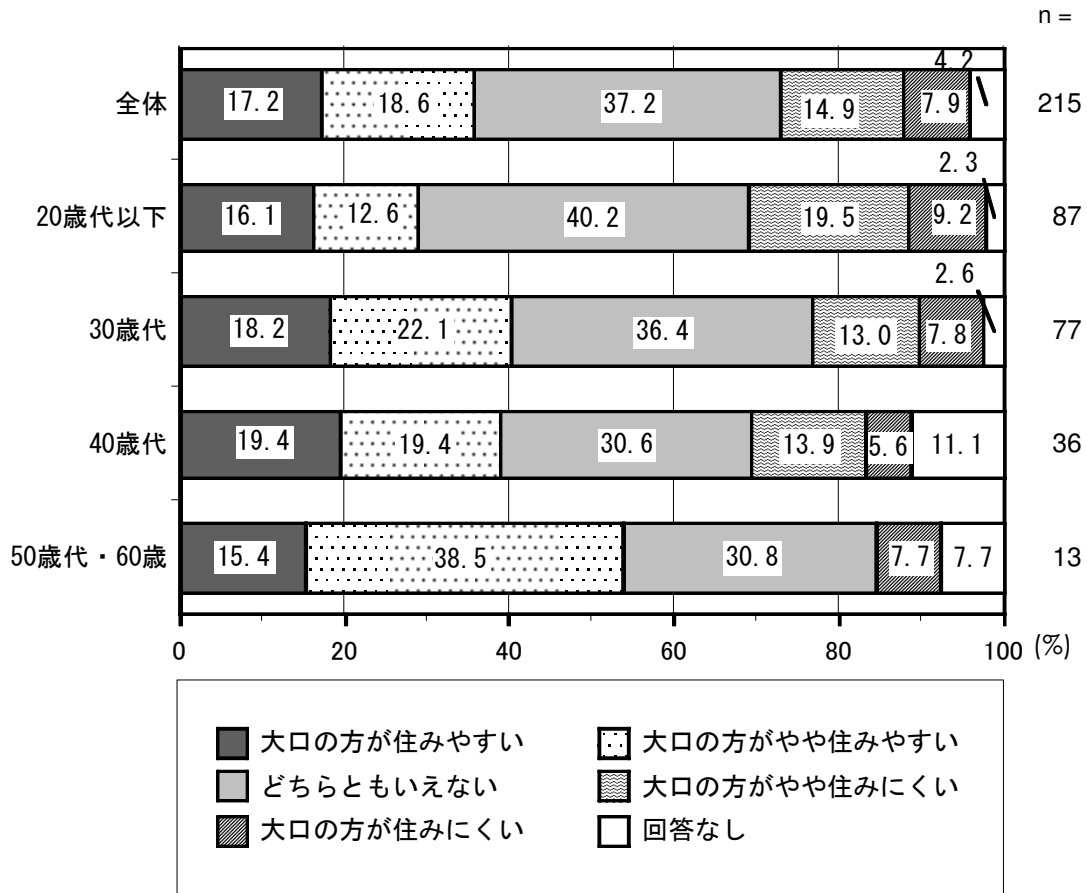
図2-4-1 性別「現住地と比べた場合の大口町の総合的な住みやすさに関する評価」



【年齢別】

- 年齢別にみると、50歳代・60歳では、「住みやすいという評価」が53.9%（15.4%+38.5%）を占めており、「住みにくいという評価」（7.7%）を大きく上回っています。
- 一方、20歳代以下では、「住みやすいという評価」は28.7%〔16.1%+12.6%〕を占めており、「住みにくいという評価」（28.7%〔9.2%+19.5%〕）と同じ割合になっており、他の年齢層に比べて住みやすさの評価が低くなっています（図2-4-2）。

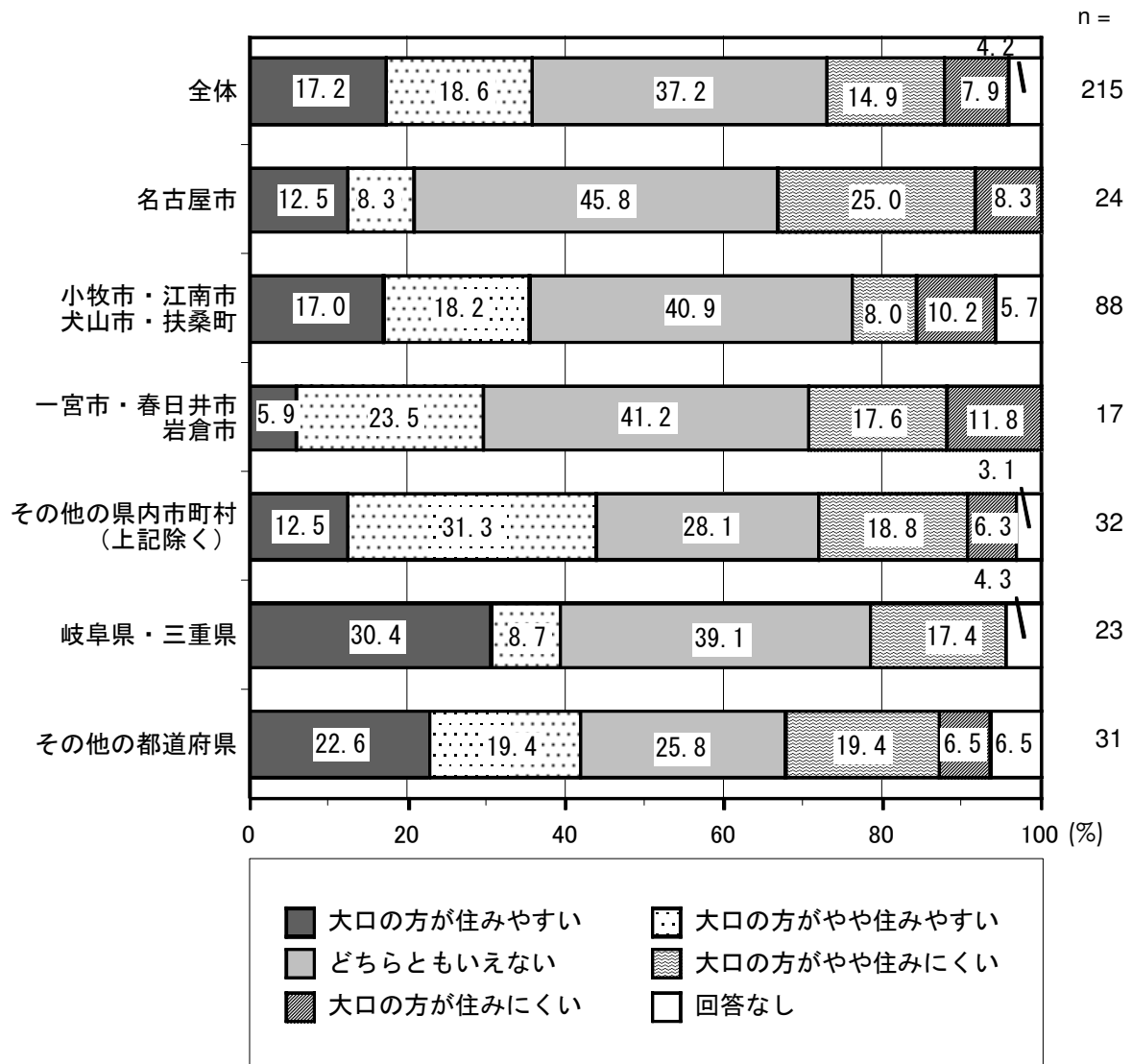
図2-4-2 年齢別「現住地と比べた場合の大口町の総合的な住みやすさに関する評価」



【転出先別】

○それぞれの転出先について、「住みやすいという評価」の割合から「住みにくいという評価」の割合を差し引いたポイント差をみると、「名古屋市」は-12.5ポイント、隣接自治体である「小牧市・江南市・犬山市・扶桑町」は17.0ポイント、近隣自治体である「一宮市・春日井市・岩倉市」では0.0ポイント、「その他の県内市町村」は18.7ポイント、「岐阜県・三重県」は21.7ポイント、「その他の都道府県」は16.1ポイントという結果になり、唯一、「名古屋市」だけがマイナス評価となっています（図2-4-3）。

図2-4-3 転出先別「現住地と比べた場合の大口町の総合的な住みやすさに関する評価」



第3章 大口町へ再び戻ってくる予定・意向について

(1) 再転入意向 (問 13)

問 13 あなたは将来、大口町に再び戻って暮らしていく予定や意向がありますか。

将来、大口町に戻る予定や希望があるのは3割程度であり、4割強は戻る可能性は低い・戻りたいと思わないと回答しています。

○将来、大口町に再び戻って暮らしていく予定や意向については、「戻ることではない（可能性は低い）」が39.1%で最も多くを占めています。「戻りたいと思わない」（5.6%）を合わせると、44.7%と約半数の人は戻る可能性は低い・戻りたくないと回答しています。

○一方、「戻ってくる予定である」は10.2%、「戻りたいという希望はある」は22.8%であり、戻る予定や希望があるのは合わせて33.0%となっています。

【性別】

○性別にみると、戻ってくる予定や希望があるのは「男性」が31.8%であり、「女性」(35.3%)より僅かながら少なくなっていますが、性別による有意な差はみられません(図3-1-1)。

【年齢別】

○年齢別にみると、「戻ってくる予定である」と「戻りたいという希望はある」とを合わせた割合は、50歳代・60歳で38.5%(7.7%+30.8%)と全体値に比べて若干多くなっています。また、50歳代・60歳では、「わからない」が38.5%を占めており、他の年齢層比べて多くなっています(図3-1-2)。

【転出先別】

○転出先別にみると、「戻ってくる予定である」、「戻りたいという希望はある」を合わせた割合は、「その他の都道府県」で51.7%(19.4%+23.3%)、「名古屋市」で45.8%(20.8%+25.0%)と全体値に比べて多くなっています(図3-1-3)。

図 3-1-1 性別「再転入意向」

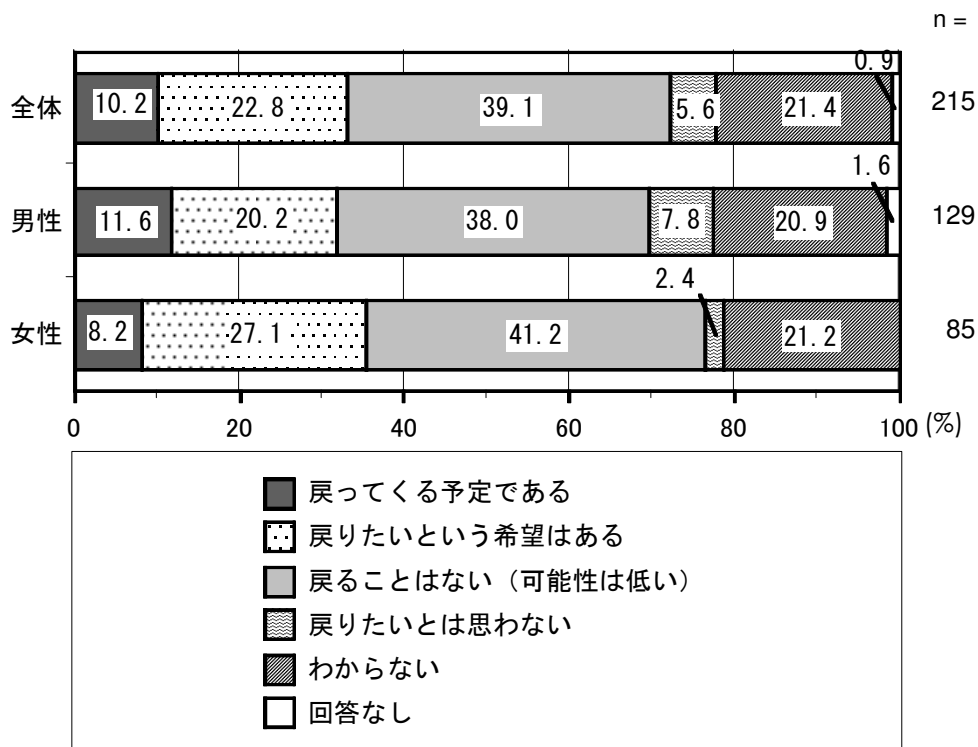


図 3-1-2 年齢別「再転入意向」

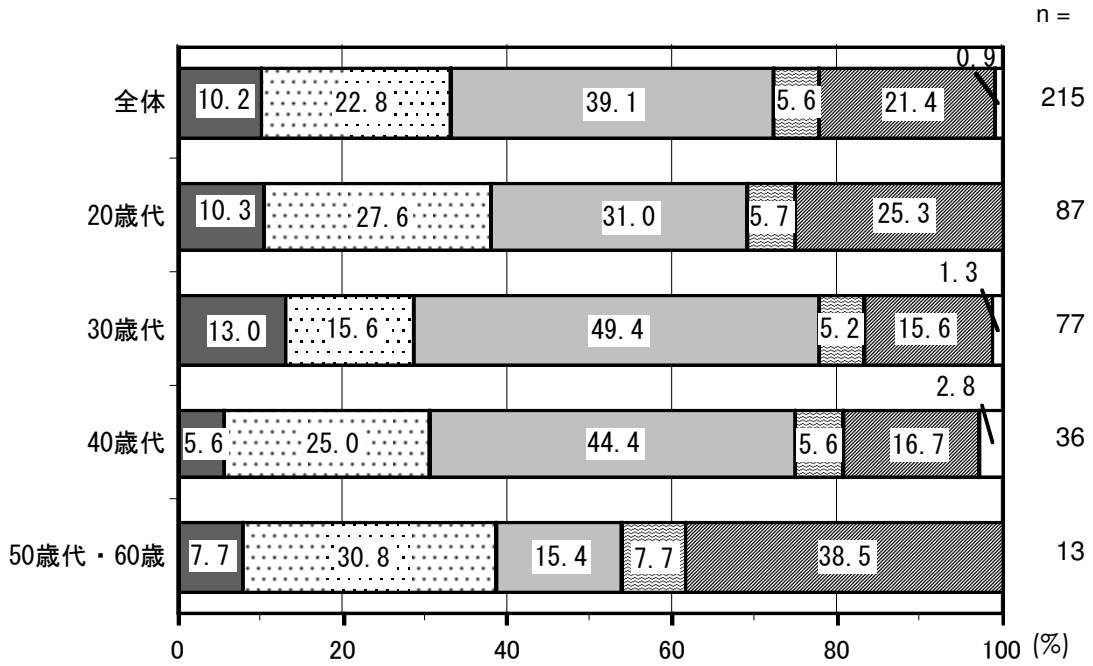
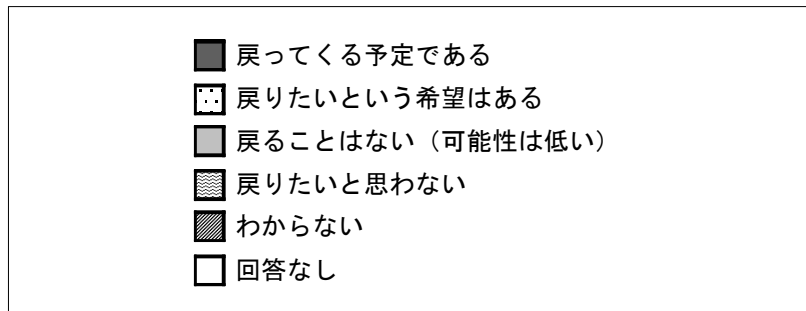
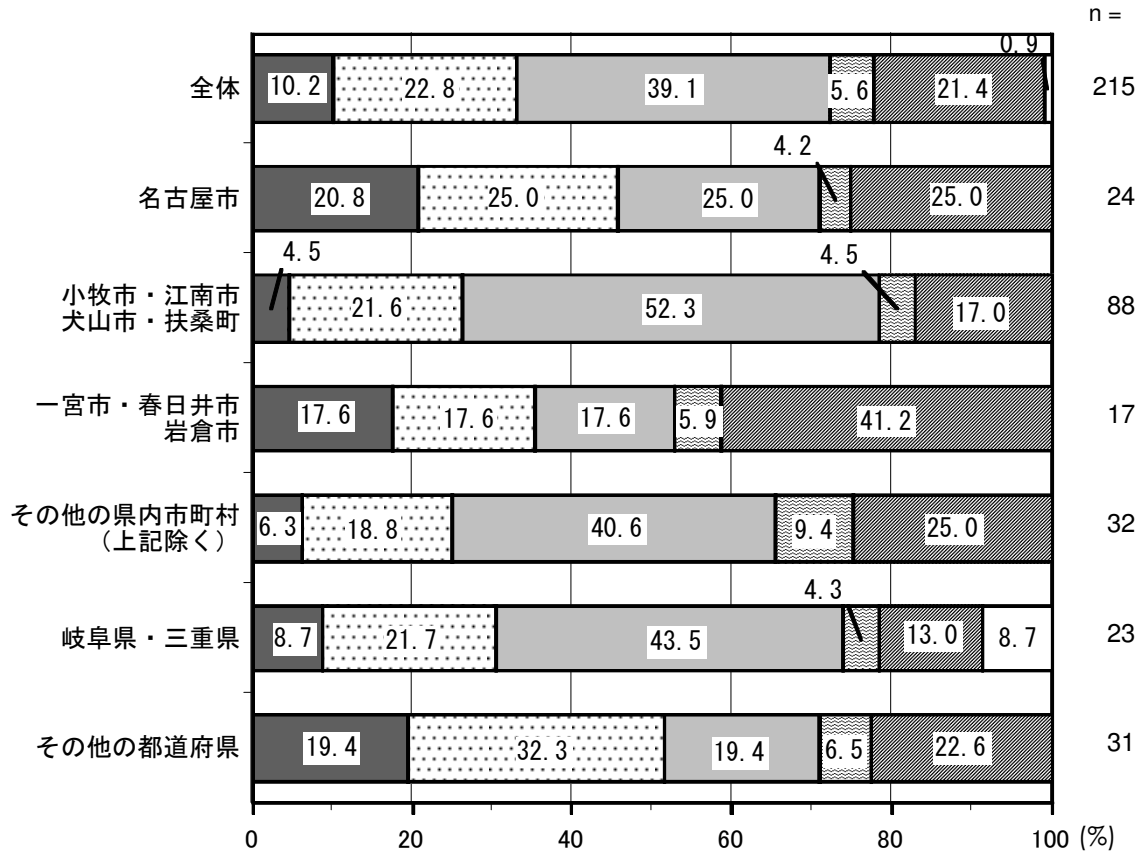


図 3-1-3 転出先別「再転入意向」



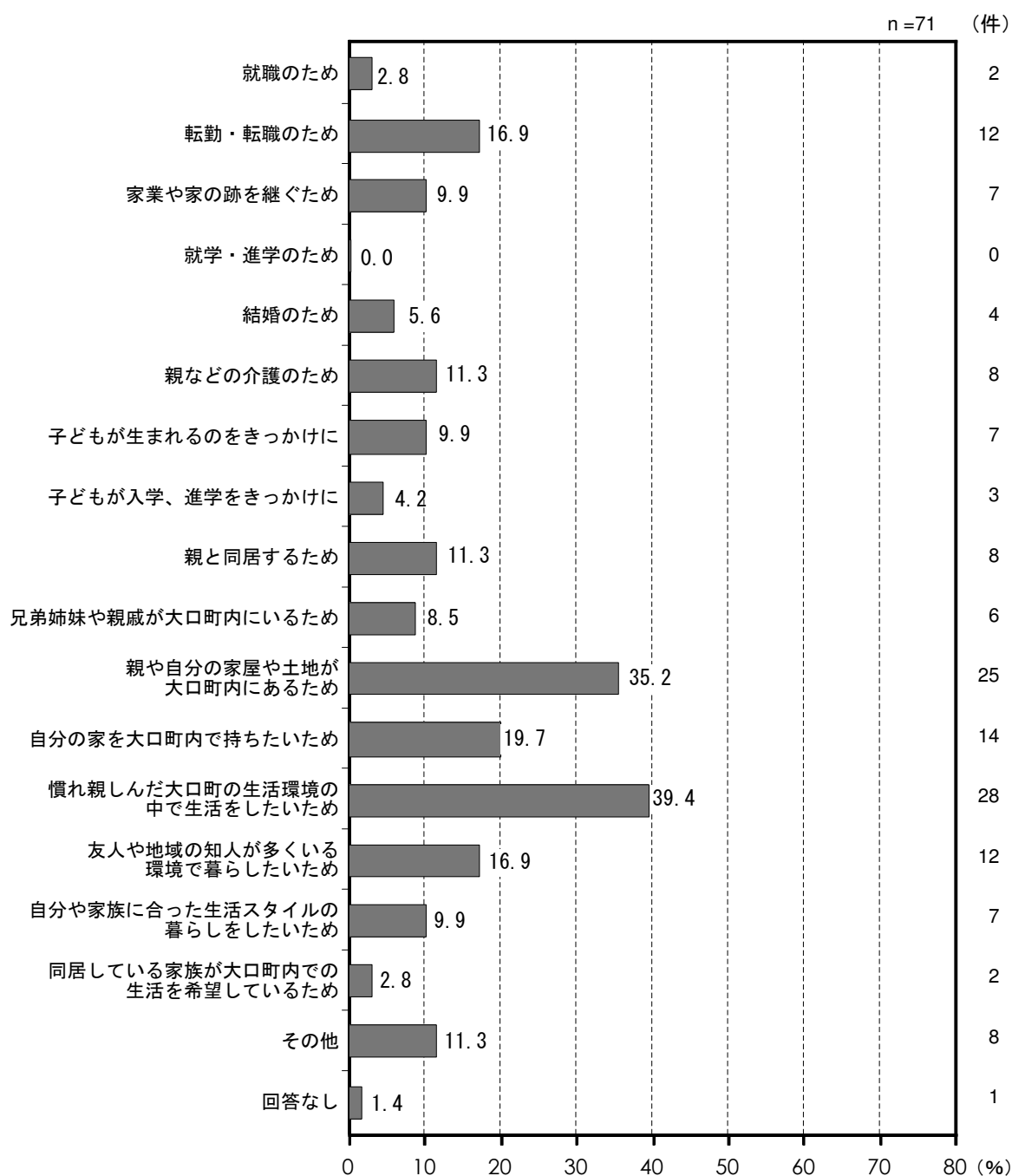
(2) 再転入の場合の理由 (問 14)

問 14 大口町に再び戻って暮らしていくことがある場合、主にどのようなことが理由として考えられますか。【あてはまるものを3つまで選んで番号に○印をつけてください。】

再転入する理由は、「慣れ親しんだ大口町の生活環境の中で生活をしたいため」が39.4%で最も多く、「親や自分の家屋や土地が大口町内にあるため」が35.2%で続いています。

○問 13 で再転入の予定や希望があると回答した 71 人にその理由を尋ねたところ、「慣れ親しんだ大口町の生活環境の中で生活をしたいため」が 39.4%で最も多く、「親や自分の家屋や土地が大口町内にあるため」(35.2%)、「自分の家を大口町内で持ちたいため」(19.7%)、「友人や地域の知人が多くいる環境で暮らしたいため」と「転勤・転職のため」(共に 16.9%)が続いています。(図 3-2)。

図 3-2 「再転入の場合の理由」



住みやすいまちに関するアンケート (大口町から転出された方向けアンケート)

●アンケートご協力のお願い●

日頃より大口町の町政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
さて、本町では、『みんなで進める自立と共助のまちづくり』を基本理念として掲げた第6次大口町総合計画に基づいて町政運営を進めてきました。また、全国的に人口減少や少子高齢化が進んでいる中、本町では、住みやすいまちづくりを進めるための戦略（計画）づくりをスタートさせたところです。

そこで、この度、一層住みやすいまちづくりを進めていくための基礎資料を得ることを目的に、町民や前町民であった皆さんを対象にアンケートを実施することになりました。

このアンケートは、平成26年4月1日から平成27年9月30日までの期間に大口町内から町外に転出された18歳～60歳の町民の皆さん約830人を選ばせていただき、お願いするものです。ご回答いただきました内容は、すべて統計的に処理しますので、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたりすることは一切ありません。

つきましては、将来の大口町のあり方を考えていく上で大切なアンケートですので、ご多忙のところ大変申し訳ありませんが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成27年11月

大口町長 鈴木 雅博

■ご記入にあたって■

1. このアンケートは、宛名のご本人がお答えください。事情によって、ご本人が回答できない場合は、ご家族の方が本人に代わってご回答ください。
2. 設問への回答について、特に記載のない場合は、**該当する項目を1つ選んで、番号に○印**をつけてください。
3. ご記入いただいたアンケート用紙は**平成27年11月26日(木)**までに同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、ポストに投函してください。
4. アンケートについてのご質問やお問い合わせは、下記までお願いいたします。

■このアンケートに関する問い合わせ先■

大口町総務部政策推進課 総合戦略担当（岩田）
電話：0587-95-1617（内線224） Fax：0587-95-1030
E-mail：seisaku@town.oguchi.lg.jp
〒480-0144 大口町下小口七丁目155



A あなたやあなたのご家族などについて

問1 あなたの性別・年齢をお教えてください。

●性別

- | |
|-------|
| 1. 男性 |
| 2. 女性 |

●年齢(※平成27年9月30日現在の年齢でお答えください。)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～24歳 | 3. 30～34歳 | 5. 40～44歳 | 7. 50～54歳 |
| 2. 25～29歳 | 4. 35～39歳 | 6. 45～49歳 | 8. 55～60歳 |

問2 あなたの職業は何ですか。

- | | | |
|-------------------|-----------------------|----------------|
| 1. 農業 | 5. パートタイマー・派遣業の非正規雇用者 | 8. 家事専従(主婦・主夫) |
| 2. 自営業・自由業 | 6. 失業中(求職中) | 9. 無職 |
| 3. 会社員(商店等の勤務も含む) | 7. 学生 | 10. その他(_____) |
| 4. 公務員・団体職員 | | |

問3 あなたは、現在(大口町から転出した後)、どこに住んでいますか。

- | | | |
|---------|---------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 名古屋市 | 6. 春日井市 | 10. 岐阜県(市町村名⇒_____) |
| 2. 一宮市 | 7. 岩倉市 | 11. 三重県(市町村名⇒_____) |
| 3. 小牧市 | 8. 扶桑町 | 12. 愛知県・岐阜県・三重県以外の都道府県(都道府県名⇒_____) |
| 4. 江南市 | 9. 前記1～8以外の愛知県内の市町村(市町村名⇒_____) | (市区町村名⇒_____) |
| 5. 犬山市 | | |

問4 あなたは、大口町に住んでいた時、あなたのお住まいはどの地区(行政区)にありましたか。

- | | | | | | |
|-------|--------|-------|--------|--------|-----------|
| 1. 秋田 | 3. 大屋敷 | 5. 河北 | 7. 上小口 | 9. 下小口 | 11. さつきヶ丘 |
| 2. 豊田 | 4. 外坪 | 6. 余野 | 8. 中小口 | 10. 垣田 | |

問5 大口町から転出されたご家族の人数は、あなたも含めて何人でしたか。

●あなた自身を含めた家族人数

人

※あなたお1人だけの場合は、「1」を記入してください。

問6 大口町から一緒に転出したあなたのご家族の構成は次のどれに属しますか。

- | | |
|--|---|
| 1. 単身(あなたお1人だけ)で転出 | 6. 3つの世代で構成される家族のうち「あなたや配偶者の親+あなたや配偶者+子ども」からなる家族で転出 |
| 2. 夫婦のみ(あなたと配偶者)で転出 | 7. 3つの世代で構成される家族のうち「あなたや配偶者の祖父母+あなたや配偶者の親+あなたや配偶者」からなる家族で転出 |
| 3. 1つの世代の家族(夫婦のみの世帯を除く、例えば、「兄弟のみの世帯」や「姉妹のみの世帯」など)で転出 | 8. 4つ以上の世代からなる家族で転出 |
| 4. 2つの世代で構成される家族のうち、「あなたや配偶者+子ども」からなる家族で転出 | 9. その他(具体的に: _____) |
| 5. 2つの世代で構成される家族のうち、「あなたや配偶者+あなたや配偶者の親」からなる家族で転出 | |

問7 大口市から一緒に転出したあなたのご家族の中には、次のいずれかにあてはまる方はいますか。【あてはまるものをすべて選んで番号に○印をつけてください。】

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 0歳～2歳の乳幼児 | 5. 高校生 |
| 2. 3歳～5歳児（小学校入学前まで）の幼児 | 6. 大学生・大学院生・専門学校生 |
| 3. 小学生 | 7. 1～6のような同居人はいない |
| 4. 中学生 | |

問8 あなたは結婚していますか。

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 結婚している | 3. 結婚していない |
| 2. 結婚していないがパートナーと暮らしている | 4. 離別・死別した |

B 大口市からの転出理由や転出前後の様子について

問9 大口市から転出して（引越しをして）、他市町村に移り住んだ主な理由は何ですか。【あてはまるものを5つまで選んで番号に○印をつけてください。】

- | | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 就職のため | 14. 大口市の居住環境が良くなかったため |
| 2. 転勤・転職のため | 15. 大口市の自然環境が良くなかったため |
| 3. 家業や家の跡を継ぐため | 16. 大口市では通勤・通学が不便であったため |
| 4. 就学・進学のため | 17. 大口市では買い物が不便であったため |
| 5. 結婚のため | 18. 大口市では通院が不便であったため |
| 6. 親などの介護のため | 19. 大口市では子育てがしにくかったため |
| 7. 子どもが生まれるため | 20. 大口市の行政サービスや公共施設があまり充実していなかったため |
| 8. 子どもが入学、進学するため | 21. 大口市では隣近所のつきあいがあまりよくなかったため |
| 9. 親と同居するため | 22. その他（具体的に： _____
_____） |
| 10. 親の近くに住むため | 23. 特になし |
| 11. 持ち家を購入したため | |
| 12. 適当な家賃のアパートやマンション等の賃貸住宅が見つかったため | |
| 13. 大口市で住んでいた住宅が老朽化したため | |

問10 大口市に住んでいた時（前住地）の住宅のタイプと大口市から転出して（引越しをして）他市町村に移り住んだ後（現在地）の住宅のタイプをお教えてください。

大口市に住んでいた時（前住地）の住宅のタイプ

1. 一戸建ての持ち家（あなたまたは配偶者の所有）
2. 一戸建ての持ち家（実家・親の家）
3. 一戸建て・長家建ての借家
4. 分譲マンション
5. 賃貸アパート等（建物が2階建以下）
6. 賃貸アパート・マンション等（建物が3階建以上）
7. 町営・県営等公営住宅
8. 社宅・寮・宿舎
9. 間借り
10. その他（具体的に_____）
_____）

大口市から転出した後（現在地）の住宅のタイプ

1. 一戸建ての持ち家（あなたまたは配偶者の所有）
2. 一戸建ての持ち家（実家・親の家）
3. 一戸建て・長家建ての借家
4. 分譲マンション
5. 賃貸アパート等（建物が2階建以下）
6. 賃貸アパート・マンション等（建物が3階建以上）
7. UR賃貸や公社等の公的な賃貸住宅
8. 市町村営・県営等公営住宅
9. 社宅・寮・宿舎
10. 間借り
11. その他（具体的に_____）
_____）

問11 大口市に住んでいた時（前住地）と大口市から転出して（引越しをして）他市町村に移り住んだ後（現在地）とでは、どちらが住みやすいですか。①から⑱までのそれぞれの項目の面からみて、現在地に比べて大口市が住みよかったかどうか、1～5の番号に○をつけてください。

項目	選択肢				
	大口市の方が住みやすい	大口市の方がやや住みやすい	どちらともいえない	大口市の方がやや住みにくい	大口市の方が住みにくい
① 保育園や学童保育などの子育てのしやすさ	1	2	3	4	5
② 小・中学校の教育環境	1	2	3	4	5
③ 高齢者や障害者の福祉サービス	1	2	3	4	5
④ 鉄道やバスなどの交通	1	2	3	4	5
⑤ 日常の買い物の便利さ	1	2	3	4	5
⑥ 病院や診療所などの医療機関の利用	1	2	3	4	5
⑦ 自然や緑の豊かさ	1	2	3	4	5
⑧ 身近な公園や子どもの遊び場	1	2	3	4	5
⑨ 自動車で移動する際の道路の整備状況	1	2	3	4	5
⑩ 歩行者や自転車の通行の快適さや安全性	1	2	3	4	5
⑪ 適当な家賃のアパートやマンション等の賃貸住宅の取得のしやすさ	1	2	3	4	5
⑫ 戸建て住宅やマンション等の持ち家の購入のしやすさ	1	2	3	4	5
⑬ 防犯活動が盛んなど治安の良さ	1	2	3	4	5
⑭ 風水害や地震など災害からの安全性	1	2	3	4	5
⑮ 騒音・振動・悪臭等の公害の少なさ	1	2	3	4	5
⑯ ごみ収集や処理の状況	1	2	3	4	5
⑰ 近所づきあいや地域の人間関係の良さ	1	2	3	4	5
⑱ 行政サービスの水準	1	2	3	4	5

問12 大口市に住んでいた時と大口市から転出して（引越しをして）他市町村に移り住んだ後（現在地）とでは、どちらが総合的にみた場合に住みやすいですか。

1. 大口市の方が住みやすい	3. どちらともいえない	4. 大口市の方がやや住みにくい
2. 大口市の方がやや住みやすい	5. 大口市の方が住みにくい	

C 大口町へ再び戻ってくる予定・意向について

問13 あなたは将来、大口町に再び戻って暮らしていく予定や意向がありますか。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 戻ってくる予定である | 3. 戻ることはない（可能性は低い） |
| 2. 戻りたいという希望はある | 4. 戻りたいと思わない |
| | 5. わからない |

問14 【問13で1、2のいずれかをお答えの方にお伺いします。】

大口町に再び戻って暮らしていくことがある場合、主にどのようなことが理由として考えられますか。【あてはまるものを**3つまで**選んで番号に○印をつけてください。】

- | | |
|--------------------------|--------------------------------|
| 1. 就職のため | 12. 自分の家を大口町内で持ちたいため |
| 2. 転勤・転職のため | 13. 慣れ親しんだ大口町の生活環境の中で生活をしたいため |
| 3. 家業や家の跡を継ぐため | 14. 友人や地域の知人が多くいる環境で暮らしたいため |
| 4. 就学・進学のため | 15. 自分や家族に合った生活スタイルの暮らしをしたいため |
| 5. 結婚のため | 16. 同居している家族が大口町内での生活を希望しているため |
| 6. 親などの介護のため | 10. その他（具体的に： |
| 7. 子どもが生まれるのをきっかけに | |
| 8. 子どもが入学、進学をきっかけに | |
| 9. 親と同居するため | |
| 10. 兄弟姉妹や親戚が大口町内にいるため | |
| 11. 親や自分の家屋や土地が大口町内にあるため |) |

ご協力ありがとうございました。

記入漏れ等がないかご確認の上、平成27年11月26日（木）までに返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。